



楊谷寺へ向かう一同（6月2日、楊谷寺参道、岡本太氏撮影）

# 順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺  
2026年(令和8年)

## 7月号

VOL. 393

### ◆◆ 護寺会バス旅行 ◆◆

6月2日、護寺会主催のバス旅行が実施された。あいにくの雨模様のなかでの旅行となったが、平安時代より続く楊谷寺の景観は大変荘厳なものであった。空海が祈禱を施したと伝えられる霊水や、一面に咲き誇る紫陽花に迎えられ、京都の新緑を存分に感じるひとときとなった。

### ◆ 孤立と孤独の違い ◆

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』に収められた次の偈です。

「孤独の味

静寂の味を知ったならば

恐れも、汚れもなく

真理の喜びを味わうことができる」

(第205偈より)

この一節を手がかりに、孤独について考えてみます。

「孤独」という言葉は、絆を失い、一人寂しく過ごす状態として受け止められることがあります。とくに東日本大震災以降は、人との絆を見直す意識が強まり、一人であることを肯定しにくい風潮も見られます。また、コロナ禍を経て人と人とのつながりが薄れる「孤立」が顕在化したことで、孤独と孤立が混同される場面も増えました。

しかし仏教では、孤独や静寂は、多くの場合、良い意味で用いられます。それは、他人や周囲の評価に振り回されず、満たされない思いから

### 今月の釈尊の言葉



## 孤独や

## 静寂の味を知ると

## 恐れも汚れも無くなる

『ダンマパダ』

第205偈より

### 若院のテーマカット NO.84



生じる欲や怒りの波が静まった状態を指します。先のG7サミットで、高市総理が外国首脳らと同席した際、円卓会場で一人離れて座っていた姿を揶揄し、否定的に取り上げる論調がありました。今日のG7サミットは、大国の思惑に左右される面もあり、迅速な意思決定と協調を目的とする会議としての意義が問われています。そのような中で、たとえ日本の経済規模が相対的に小さくなり、発言力が弱まったとしても、平和と協調への強い意志を毅然と示すことができれば、それは尊い姿だと言えるでしょう。仏教の教えが根づく日本において、孤独で

あっても毅然と立つ人を正当に評価する風潮が、もっと広がってほしいと思います。

### ◆孤独を喜びに変える念仏◆

先ごろ出版された五木寛之氏の『大河の一滴・最終章』は、もうお読みになりましたでしょうか。

本書は、ベストセラーとなり映画化もされた『大河の一滴』の続編ともいえる一冊です。五木氏らしい軽やかな文体で読み進めやすく、九十三歳を迎えた氏が最晩年の心境をつづる中に心に留めたい言葉が随所に記されています。

その中で、孤独について次のように述べられています。「ひとりぼっちでいる事を〈孤独〉だと思っている人がいます。どうしても仲間がほしい。誰かと一緒にいれば孤独から逃れられるように感じている。人恋しさがきわまって哀しみとなる。そういうのは孤独ではない。単に一人であることに弱い」だけの話です」

（『大河の一滴・最終章』より）

これは、仲間を求める気持ちに情緒の問題として捉えるのではなく、「志を同じくする同志と、どこかで食いちがうところを感じて、心から共鳴することができない。そんなとき人は孤独なのです」（同前）

と述べ、心から共鳴できないという認識のずれが生じたとき、人は孤独を感じるのだと示しています。

まさにそのようなとき、世間の常識や周囲の空気に流されることなく、阿弥陀仏と一対一で向き合う念仏こそが、孤独を真理との出遇いの喜びへと変えてくれる尊いものだ、あらためて気づかされます。

### ②【五木寛之】

五木寛之は日本の小説家。福岡県出身。作詞家を経て『さらばモスクワ愚連隊』でデビューした。『蒼ざめた馬を見よ』で直木賞受賞。反体制的な主人公の放浪的な生き方（トラッシュ）や現代に生きる青年の「ヒリズム」を描いて、若者を中心に幅広い層にブームを巻き起こした。

（ウィキペディアより）

（ウィキペディアより）



正信偈を、意味がよく分らないまま、すらすら唱えています。どうしたら、その意味が分かるようになるのでしょうか。



じゅんこちゃん、小さいころから正信偈を聞いたり唱えたりしてきたんですね。正信偈は漢字が多いお経のような言葉なので、子ども

のころに意味が分からなかったのは、ふしぎなことではありません。じつは、正信偈の意味は、大人にとっても簡単ではありません。大人になると「意味を知りたい」と思うようになりますが、はじめて学ぶ人がすぐに全部を

部を分けるのは難しいことです。慌てて分かったつもりになると、間違っ受けて取ってしまうこともあります。

そこで、本願寺の八代目である蓮如上人は、だれでも声に出してお勤めができるように、唱えやすい印と音をつけました。それがどんなものだったのかは、今でははっきり分かっています。でも、それによつて、漢文の意味が分からない人でも、正信偈を身近に感じられるようになりました。

つまり、意味がよく分からない漢文を、まだ十分に意味を知らない子どもが読む、という形が、蓮如上人の時代から始まったのです。

だから、子どものころに覚えて唱えられるようになった正信偈の意味を、大人になってから少しずつ知っていくことには、大切な意味があるのです。

## 若院の成長日記

### Growth Diary

### 《第七五回 篠笛》

皆さん、篠笛を存じてでしょうか。お雛子で用いられる横笛です。最近練習を始めましたが、最初の音を出すのがなかなかできません。ようやくかすれた音が出るようになったところです。篠笛の練習をしていると、

仏法聴聞にも通じるものを感じます。仏さまのお話も、繰り返して聞き続けるなかで、ある時ふと心に響くことがあるのではないのでしょうか。聞き続けることの大切さを、篠笛を通して教えられていくように感じています。

### お寺とともに

## 「応援力」



サッカーワールドカップ。大会開催中は連日大盛り上がりで、試合当日ともなると日本各地から大声援が恒例となっています。日々暗いニュースが多い中で、皆で一生懸命に応援することは気持ちるを明るくさせてくれるものです。また、応援はスポーツだけでなく、最近では「推し活」のように、誰かを、何かを応援することが一つの文化として、暮らしの中に静かに根付いているように感じます。

一方で、言葉が誰かを傷つけることもあります。だからこそ私は、人を追い詰める言葉ではなく、背中をそっと押す言葉を選びたいと思います。

大きな大会が終わっても、日常の中には応援できる場面がたくさんあります。家族や身近な人の小さな一歩に気づくこと。頑張る自分自身に「大丈夫」と声をかけること。それもまた、大切な応援です。

勝ち負けのない日々の中で、誰かを思い、そっと力を送ること。その静かな応援こそ、心をあたためてくれる、やさしく尊い力なのだと思います。

# 護寺会バス旅行

## 紫陽花と名水を尋ねて

さる6月2日、護寺会主催のバス旅行が開催されました。今回は36名の参加があり、直前に発生した台風の影響が心配されましたが、多少の雨はあったものの、予定通りの行程を巡ることができました。

まず訪れたのは、黄色いカップのマークで親しまれている清酒会社「黄桜」が運営する「黄桜伏水蔵」です。館内では、日本酒やビールの製造工程やそのこだわりについて見

学し、その後、二階のレストランで食事をいただきました。

その後、楊谷寺を拝観いたしました。バスがすれ違うのも難しいほどの山道を抜けた先に、お寺はありました。楊谷寺は浄土宗西山派の寺院で、十二面千手千眼観世音菩薩を本尊としています。創建から約二〇〇年の歴史を有し、眼病平癒に靈驗あらたかと伝えられる空海ゆかりの靈

水がある祈願所として、古くから多くの信仰を集めてきました。

また、花水発祥の地としても知られており、境内の各所では、色とりどりの花を浮かべた美しい花水を見ることができました。境内は高低差があり、さらに雨の影響もあって、すべてを見て回るのは大変でしたが、ドラマのロケ地にもなった見事な景観や、咲き誇るアジサイをはじめとした青々とした新緑に包まれ、心癒されるひとときとなりました。

### バス旅行の記録 by岡本太(記録係)



JA 富士松より出発



「黄桜」伏水蔵見学



楊谷寺本堂



あじさい回廊



楊谷寺書院



上書院から見える浄土苑



花取水

### 順慶寺の花々

バス旅行で訪れた楊谷寺のアジサイは見事でしたが、順慶寺のアジサイも6月は花盛りでした。また、六月下旬頃からは、有志の方々に植えていただいたハスも美しく咲いています。



アジサイ



半夏生



ハス

6月度護寺会物故者(敬称略)

釋尼都清

6月6日寂 塚本美都子(74)

今川西組 塚本由平様の妹

以上一名の方が

浄土にお還りになりました

合掌

### 編集部短信

◆駐車場コンクリート舗装完了!! さる6月23日、浜松市の(株)アズマさんに依頼していた、駐車場シャッターの解体とコンクリート舗装が完了しました。ブロック塀の解体等依頼しておりますので工事はもう少し続きます。ご了承ください。

### 編集雑記

最近話題のAIに「お寺の未来はどんな

るか」と尋ねてみました。すると、寺離れや法事などの仏事の縮小が進むなか、悲観的な見方が多い一方で、これからのお寺は「義務で関わる場所」から「心の拠り所として自ら選んで訪れる場所」へと変わる必要がある、との提言が示されました。核心を突いた、まことにものともな指摘で、深くうなずかされます。(住)

今年は生きがいの、やけに蚊に刺されます。(若)



# 7月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	水	寺カフェ(9:00～、順慶寺南落間他)	
2	木		木-1
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		木-2
10	金		
11	土	定例責役総代会(19:00～、順慶寺玄関)	
12	日	真宗講座(14:00～、順慶寺本堂)	
13	月		
14	火	同朋ゼミ(14:00～、順慶寺玄関)	
15	水		
16	木		木-3

17	金	助音講(16:00～、順慶寺玄関)	
18	土	順慶寺こども会(9:00～、順慶寺本堂)	
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		木-4
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	宗祖聖人御命日(7:00～、順慶寺本堂)	
29	水		
30	木	おみがき・大掃除(8:00～、順慶寺)	
31	金		
8/1	土	盆会(13:00～、順慶寺本堂)	

## 7月行事内容 詳細

### 定例責役総代会

7月11日(土)

午後7時～ 順慶寺玄関

順慶寺の責任役員および総代による、半期に一度の会議を開催いたします。主な議題は、令和8年度護寺会の上半期行事報告および会計報告、下半期行事予定の審議、ならびに令和7年度順慶寺会計報告などです。特に、順慶寺会計報告では、宗教法人順慶寺の令和7年4月から令和8年3月までの会計について、住職より責任役員・総代会の場に提出し、審議を行います。

### 順慶寺子ども会 「てるてる坊主を作りました！」

6月の子ども会は梅雨の雨にも負けず、てるてる坊主を作りました。みんな思い思いの顔を書き上げ、楽しいひとときとなりました。



子ども会順慶寺玄関にて

## おしらせ

### ●太鼓の会メンバー募集中

4月より発足しました太鼓の会(仮称)はメンバーを募集中です。初心者経験者問わず太鼓をやってみたいという方大歓迎です。現在は月に2回のペースで講師を招いて練習を行っております。7月の練習日時は6日(月)と20日(月)、練習時間は19時からの2時間です。興味のある方は順慶寺までご連絡ください。

### ●盆会について

本年もお盆を前の8月1日に、本堂にて盆会を開催します。なお、ご案内は、本年も本堂に須弥壇納骨されたお宅のみとさせていただきます。ご了承ください。また、盆会の当日、順慶寺玄関では、宝物のお虫干しを実施します。その後、盆期間の終了時まで、午前8時から午後5時まで宝物を玄関に展示させていただきます。

### じゅんこのときめき歳時記

## 紫陽花

何度も取り上げたのでおなじみですね。梅雨のお花といえば紫陽花。なぜこれで「あじさい」と読むの疑問に思われたこともあると思いますが、別の花に当てられていた「紫陽花」と平安時代の学者が「あじさい」にあてたからといわれています。

紫陽花は日本固有の植物ですが、長崎に由来したシボルトがきっかけで海外に伝わり、品種改良を重ねて日本に逆輸入されたものが、よく目にする「西洋あじさい」だそうです。そんな紫陽花の花言葉は意外にも「無常」です。とても仏教的ですね。

情報に追われる昨今、梅雨の雨に打たれる紫陽花を眺める機会がありましたら、一歩立ち止まって「無常」に思いを巡らせてみるのも、また一興かもしれません。

紫陽花の おおきな繻の  
みな褪せー  
松本たかー

